

えがお いっぱい

令和 7 年 1 月 24 日
富士市立富士南小学校
学校だより 2 月号

小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重点目標 「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」

2月・3月の生活目標 「ありがとうを伝えよう」

新年を迎えたかと思ったら、早くも2月に入ります。2月は、「如月（きさらぎ）」とも呼ばれます。その語源として、「まだまだ寒さが残っているため、衣（きぬ）を更に着る月であるから『衣更着（きさらぎ）』」との説があります。1月も、寒波の襲来で、全国的に寒い日が続き、北陸地方では豪雪に悩まされていました。2月に入って、更に寒さが厳しくなることを想像すると気が重くなります。また、インフルエンザも全国的に流行し、各県で警報や注意報が発令されていました。本校でも、大きな広がりは見られませんが、油断することのできない状況が続いています。必要に応じて、うがい、手洗い、マスクの着用等、基本的な対策をこれからも呼び掛けていきます。

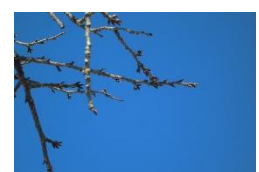
さて、厳しい寒さについつい弱気になり、背中を丸めて身を縮めがちになってしまいますが、北にそびえる富士山の凛として、雄大なたたずまいを見ると、背筋が自然にぴんと伸びてしまいます。特に、雪化粧した富士山の美しい姿には、心が洗われる思いがします。今月の23日（日）は「ふじ山の日」です。特別に何かをするのではなく、晴れていれば、改めて富士山をじっくりと眺めて、その雄大さをより身近に感じられたらよいと思います。

◇ 立春に寄せて ◇

2月3日（月）が立春ですが、その前に校庭を散策してみました。

1年生が育てるチューリップが小さな芽を出し始めました。また、正門近くの花壇には、ビオラとアリッサムが咲き、花芽の数を増やしています。そして、学校の南側には、フラワー委員会の活動により、クロッカス、カスミソウ、パンジー（赤・青）等のたくさんの小さな苗がポットに納まりつつ順調に育っています。三段花壇には、なかよし学級が育てているチンゲンサイ、ホウレンソウといった野菜が、風に吹かれながらも葉の数を増やしていました。

冬の青空を背景に、桜の梢には、膨らみ始めた蕾を数えることができます。チューリップの芽も桜の蕾も冬の寒さにじっと耐えつつも英気を養っているように映ります。4月の進学・進級に向け、日々、心身にともにエネルギーを蓄えている子供たちの姿と重なることを感じながら、進学・進級への期待を大切にしていきたいと思いました。御家庭でも、見守りと声掛けをお願いいたします。



◇ 思いをつなぐ ◇

先日（1月21日）、給食委員会が計画した「給食記念集会」を行い、日頃からおいしい給食をつくってくださっている給食調理員の方々に、南レターをプレゼントするなどして感謝の気持ちを伝えました。また、小田栄養教諭の話や事前に行ったビンゴゲームを通して、給食への理解も深めました。

今後の活動は、6年生による「卒業プロジェクト」の企画として、地域の方に感謝する気持ちを伝えたり、児童会活動では、「リーダー（委員会）引き継ぎ式」、「6年生ありがとうの会」に取り組んだりしていきます。

このような取組を通して、子供たちは、人との思いをつなぎ、心を豊かにしていくのだと思います。